

## 第18代大野市議会（令和5年～令和9年）の議会改革等の取り組み状況

### ■議会改革の取り組み

#### 1. 議会報告会の開催

【目的】市民に開かれた議会の実現

【取り組み】

##### （1）関係団体との意見交換会の実施

- ・令和5年11月、議会運営委員会において、愛知県内3市議会を訪問し、市民との意見交換の方法について研修した。
- ・令和5年11月、常任委員会単位で関係団体等からの出席を得て、それぞれのテーマに沿った意見交換会を開催。各常任委員会では、令和6年度以降も関係団体等との意見交換会を継続している。

##### （2）議会報告会の開催

- ・令和5年7月、郡上市議会を訪問し、議会報告会の実施方法等について研修した。
- ・令和7年7月から、各地区の区長と地元議員の語る会において、議会活動の報告を行う時間を設けることとした。また統一した報告事項として、直近定例会の本会議で行う各委員長報告の内容を報告することとした。

【検討事項】

- ・地元議員のいない地区への議会報告の在り方
- ・本会議場を活用した市民との意見交換

#### 2. 政務活動費の公開

【目的】議員の政務活動の透明性確保

【取り組み】

- ・議会ホームページにおいて、令和5年度の政務活動費より、各議員の支出総額のみの公開であったものを収支報告書（支出内訳）についても公開している。

【検討事項】

- ・領収書を含めた公開

#### 3. 議員活動の充実・強化

【目的】ハラスメント根絶、政治倫理の徹底など議員の資質向上

【取り組み】

- ・令和5年6月議会で、大野市議会基本条例と大野市議会政治倫理条例の一部改正を行い、多様性を認め合う社会における議員のハラスメント防止に取り組むこととした。
- ・令和6年11月、ハラスメントに関する研修会を開催した。

【検討事項】

- ・ハラスメント根絶に向けた独自条例の制定

#### 4. 議会活動の充実、見える化

【目的】 市民に開かれた議会の実現

【取り組み】

(1) 予算特別委員会の設置

- ・予算議案の議論を活発に行うため、令和6年3月議会で予算特別委員会を設置した。

(2) 議会だよりの紙面リニューアル

- ・読みやすい議会だよりを目指して、令和6年7月発行号から、英数字が読みやすくなるよう横書き、左綴じに変更した。また、一般質問の文字数を600字から300字に減らし、全体的にフォントサイズを大きくすることにより、市民により簡潔で分かりやすく、読みやすくした。

(3) 議会改革の取り組みの周知

- ・議会改革の取り組みについて、議会ホームページに掲載した。

【検討事項】

- ・議会だよりの継続したブラッシュアップ
- ・SNSを活用した情報発信

#### 5. 議員の環境整備

【目的】 議員のなり手不足解消

【取り組み】

(1) 議員報酬等の見直し

- ・議員全員協議会等での議論を踏まえ、令和6年4月30日付けで市長に対し、議員の職責に対し適正となるよう議員報酬額の見直しと委員長報酬の新設について、特別職報酬等審議会への諮問を依頼した。
- ・令和6年5月1日付けで市長から、具体的な報酬額等の提示と審議会での審議に必要な資料の提出依頼があった。
- ・上記の市長からの依頼に対し、議長の提案により令和6年6月に議会内に議員報酬等検討プロジェクトチームを設置し、7人の委員による計6回の協議を行った。また会議には正副議長がオブザーバーとして参加した。
- ・令和7年1月17日付けで、議員報酬等検討プロジェクトチームの座長から、議長あてに「職責に対して適正となるような議員報酬額と委員長報酬について」の報告書が提出された。なお、この報告書の提出をもってプロジェクトチームは解散した。

報告内容 議員報酬額 387,000 円（現行より 30,000 円増）

委員長報酬 397,000 円（新設、議員報酬に 10,000 円加算）

- ・1月20日の議員全員協議会でプロジェクトチームからの報告内容が説明され、承認された。

- ・2月17日の議員全員協議会でプロジェクトチームから報告がなかった正副議長報酬額並びに委員長報酬の対象を常任委員会に限ることについて、議長から追加で提案され、それぞれ提案内容が承認された。
- ・令和7年4月23日付けで、市長あてに議員報酬額の提案と審議に必要な資料の提出を行った。

提示内容 議員報酬額 387,000 円（現行より 30,000 円増）  
 議長報酬 478,000 円（現行より 30,000 円増）  
 副議長報酬 407,000 円（現行より 30,000 円増）  
 委員長報酬 397,000 円（新設、議員報酬に 10,000 円加算）

## 6. 議会の環境整備、デジタル化

### 【目的】市民に開かれた議会の実現

- ・令和4年9月議会からペーパーレス会議システムの本格運用を開始し、紙の使用枚数、印刷コスト、資料準備に係る人件費、二酸化炭素排出量等の削減を図っている。概算で令和5年度は約29万4,000枚、令和6年度は約29万2,000枚の紙使用を削減した。
- ・これまで本会議の録画配信のみであったものを、令和6年6月議会から、新たにライブ配信を開始した。

### 【検討事項】

- ・オンライン委員会の開催
- ・手続きのオンライン化

## ■議員個人や会派としての活動等

- ・個別だよりの発行
- ・議会（市政）報告会の開催
- ・SNSでの情報発信
- ・議員と語る会等への出席
- ・研さんのための視察研修や研修会などへの参加
- ・市や県で設置する審議会等への出席
- ・地域の方からの相談対応 等